

社会福祉通信



発行・編集／社会福祉法人 広島市社会福祉協議会
〒732-0822 広島市南区松原町5番1号
(BIG FRONT ひろしま 6階 広島市総合福祉センター内)
TEL 082-264-6403 FAX 082-264-6413
URL : <http://shakyo-hiroshima.jp/>
E-Mail : chiiki@shakyohiroshima-city.or.jp



広島駅前大橋北詰の東側に位置する複合施設
「BIG FRONT(ビッグ・フロント)ひろしま」の5、6階に

広島市総合福祉センターが オープンしました

広島市総合福祉センターには、福祉団体やボランティアが活動を行ったり、相互に交流を深めたりする場として、ホール、会議室、料理教室、ボランティア研修室があり、この施設が積極的に活用され、市民の福祉活動の拠点となることが期待されています。

また、地域での福祉活動の担い手を養成するため老人大学を開催するほか、ボランティア活動に関する相談やコーディネート、福祉団体が連携して行う全市的な活動への支援など多様な機能を備えています。

さらに、交通の便の良い広島駅南口に立地している利点を活かし、高齢者や障害者を含むより多くの方が気軽に利用できるようバリアフリーに配慮された施設となっています。広島市社会福祉協議会が中心となって福祉関係団体やボランティア等と共に、全市的な福祉活動を推進するための様々な活動を展開していきます。

新会長 挨拶



広島市
社会福祉協議会
会長
永野 正雄

この度、山本前会長のあとを受け、昨年11月6日付で広島市社会福祉協議会会長に就任しました、永野でございます。

本格的な高齢社会の到来に備え介護保険制度の改正がなされ、地域支援事業の充実が求められるとともに、社会福祉法の改正により、社会福祉法人の経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等の社会福祉制度の改革が行われました。

このような状況のなか、広島市社会福祉協議会は、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる「地域包括ケアシステム」構築の一翼を担うため、昨年10月から、地域の皆様の参画を得て、「地域高齢者交流サロン運営モデル事業」及び「住民主体による訪問型生活支援モデル事業」を実施しています。

地域全体で自分たちの地域のことを考え、地域住民自らが行動していくことは、市社協・区社協で策定し実行している「地域福祉推進第7次5か年計画」のスローガン「みんなでつくるささえあいのまち」を実現することにもつながると考えています。

昨年12月5日、全市的な地域福祉活動の拠点施設として「広島市総合福祉センター」がオープンし、皆様の活動や交流の場を提供するとともに、新たな取組として「シニア応援センター」を開設し、高齢者の方々に対し就労をはじめとした幅広い社会参加・社会貢献の機会の提供に取り組んでいますので、積極的なご利用をお願いいたします。

本会は、広島のみちを誰もが住みやすい「ささえあいのまち」にするために、これからも地域の皆様と手を携えて歩んでまいりますので、引き続きご支援・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

各記事につけられた以下のマークは、その事業が本会「地域福祉推進第7次5か年計画」のどの基本目標に属するかを表しています。



広島市シニア応援センターがオープンしました!



平成28年12月5日、広島駅前に完成したBIG FRONT ひろしま の6階(広島市総合福祉センター内)に広島市シニア応援センターがオープンしました。

センターでは、元気で活動的な高齢者を対象に職業紹介やボランティア活動の紹介を行うなど、これまで培ってきた知識や経験を活かし、生き生きと活躍できるようにサポートします。

【対象者】

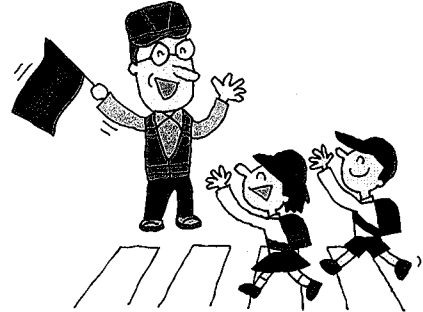
〔職業紹介の場合〕

求職者:広島市内にお住まいの60歳以上の方

求人者:広島県内に就労場所のある事業者

〔ボランティア活動の紹介など〕

広島市内にお住まいのシニアの方



シニアの
社会参加を
応援します!

【場所】

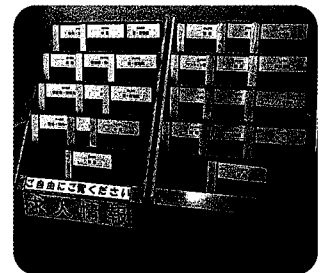
〒732-0822 広島市南区松原町5番1号

広島市総合福祉センター内(BIG FRONT ひろしま 6階)

広島市シニア応援センター

TEL:082-264-6415 FAX:082-264-6439

Email:jigyoush@shakyohiroshima-city.or.jp



概要

「広島市域の社会福祉法人が連帯して取り組む 新たな地域貢献事業検討委員会」提案書(案)



広島市域の社会福祉法人は、戦中・戦後の混乱・困窮期から、原爆孤児の救済や身寄りのない高齢者、家庭で養育しがたい児童や障害のある方々の生活を支援し福祉を高めることを目的として、創始者の私財を投げうって設立された法人が多く、爾来、社会の要請に応じ、様々な社会福祉事業、公益事業、地域貢献の取組を展開してきています。

このような中、社会福祉法人施設等が拠出しあい、生活困窮者支援を行う先駆的な取組が各地に広がるとともに、社会福祉法人制度改正が国において進められることを受けて、広島市域の社会福祉法人も、より一層地域のニーズに沿った地域貢献の取組を広げていきたいと考えました。

そこで、社会福祉協議会も含めた5分野(老人・障害・児童・母子・保育)の広島市域の社会福祉法人が、社会福祉法人の本旨に則り、それぞれの専門分野の枠を超えて、連帯して取り組むにふさわしい地域貢献事業について、具体的にテーマや内容、実施のための経費や体制について検討する委員会を、平成27

～28年度において立ちあげました。その検討結果を現在「提案書」としてまとめようとしていますので、その概要を速報としてお知らせします。

以下の共通して取り組みたいテーマに、より多くの社会福祉法人が取り組む、あるいは社会福祉法人同士と一緒に取り組む、そんな「連帯」した取組をすすめていきます。

- (1) 生活困窮者支援(就労支援)(生活支援)
- (2) こどもの貧困対策
- (3) 福祉教育(福祉理解の促進と福祉を担う人材育成)
- (4) 災害支援
- (5) 施設の機能や場所の提供
- (6) 制度の狭間の問題の把握・発信・対応
- (7) 人材確保・育成のための連帯



『まあ来てみんなさい 出会いが楽しい みんなの「居場所」』
 ～社会的課題に取り組む地域福祉活動 実践発表会 シリーズ3～を開催します。



シリーズ3回目となる今回は、「子ども食堂」をはじめ、様々な人にとって、安心できる場、出番や役割のある場を意識的に創っていかようとしている人たちが集い、居場所の現状や思い描く目標について発信するとともに、実践者同士がつながり合い、ここでの出会いが今後の活動への活力になることを期待しています。

今回は、「広がれ、子ども食堂の輪!」実行委員会様のご協力を得て実施いたします。

- 1 日 時 平成29年3月5日(日) 13時30分～16時30分
- 2 会 場 広島市総合福祉センター 5階ホール(広島市南区松原町5番1号 BIG FRONT ひろしま 5階)
- 3 参加対象 「居場所」についての活動に関心のある方ならどなたでも。
 ※現在の活動実績は問いません。
 (これから居場所づくりをしてみたい方、居場所を探している方、居場所を紹介したい人がいる方、居場所でなにか協力やお手伝い(ボランティア)をしてみたい方などなど)
- 4 内 容 ●基調講演「広がれ、子ども食堂の輪!」(仮題)
 講師:近藤 博子 氏
 (気まぐれ八百屋だんだん店主・「広がれ、子ども食堂の輪!」全国ツアー実行委員会 委員)
 ●分科会:分科会テーマは以下の通りです。
 【子どもの居場所】 「子ども食堂の始め方、運営の方法について」
 【介護者・認知症支援】 「認知症カフェとは」
 【当事者支援の居場所】 「孤立している人が求めている居場所とは」
 【地域の居場所】 「また行きたくなる居場所とは?」
 ●まとめ:分科会で話し合ったことを報告しあいます。
- 5 参加費 無料
- 6 問い合わせ先 社会福祉法人広島市社会福祉協議会 福祉課地域福祉係
 TEL:(082)264-6403、FAX:(082)264-6413
 E-mail:chiiki@shakyohiroshima-city.or.jp



子どもの育ちの支援について検討する問題別委員会の
 報告書を作成しました!



「子どもの育ちの支援について検討する問題別委員会」は平成27年12月に「地域福祉総合企画委員会」の問題別委員会として発足しました。合計12回の委員会を開催して現状・課題等を共有し、具体的な提案等をまとめた報告書を作成しました。その一部をご紹介します。

諮問事項:子どもの健やかな育ちを支援する「地域づくり」とその「しくみづくり」について

- ①子どもも親も、「地域の人たちによって支えられている!」と実感できる地域づくり
 「地域の一員として参加したい、役に立ちたい!」と思える意識の醸成と地域づくり
- ②地域で包括的に子育て家庭を支える仕組みと社協の役割

上記の①、②の内容について、委員会で情報共有し、具体的な提案等をまとめました。

①のまとめ

【市・区社協として】

- ・「つなぎ先を知っている人を増やす」講座の開催
- ・「つなぐための既存の資料」の活用と使いやすくなるための提案
- ・子育てに関する取組事例の収集と発信
- ・子どもや親が地域に愛着を持てる福祉教育の推進
- ・子育てについてやりがいと喜びを感じる福祉教育の推進

【地区社協として】

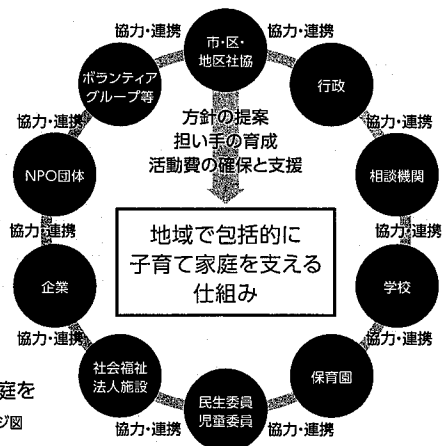
- ・子どもや親が地域に愛着を持てるような取組の実践
- ・利用者が担い手につながる子育てグループの応援

②のまとめ

【市・区・地区社協として】

- ・社協には地域福祉を推進する様々な団体をつなぎ、束ねる役割があります。これらの機関・団体と情報共有、連携して子育て支援を進めます。(イメージ図参照)

地域で包括的に子育て家庭を支える仕組みづくり イメージ図





広島市くらしサポートセンターについて

広島市くらしサポートセンターは、生活保護を受給するまでではないものの、様々な理由により経済的な面で生活に困っている方の相談窓口です。

例えば、『長い間仕事から離れていて、なかなか仕事が見つからない』、『家賃が払えなくて、もうじき退去を求められそう』、『家計のやりくりができず、借金も抱えて生活が苦しい』などの相談を日々お受けしています。

相談の内容に応じて、制度の利用や他機関との調整など、課題解決のために一緒に考えていきます。

自らが相談いただくことはもちろん、周りに気になる人がいるという方も遠慮なくご連絡ください。

なお、このたび広島市社協の移転に伴い、広島市くらしサポートセンターの窓口も以下のとおり一部変更となっております。

本部(東区、南区、安芸区担当)

所在地：広島市南区松原町5-1
BIG FRONT ひろしま6階
電話：082-264-6405

中部サブセンター(中区担当)

所在地：広島市中区大手町4-1-1
大手町平和ビル5階
電話：082-545-8388

NEW

西部サブセンター(西区、佐伯区担当)

所在地：広島市佐伯区海老園1-4-5
佐伯区役所別館5階
電話：082-943-8797

北部サブセンター(安佐南区、安佐北区担当)

所在地：広島市安佐南区中須1-38-13
安佐南区総合福祉センター5階
電話：082-831-1209

※FAX、Eメールによるご相談は各センター共通

FAX：082-264-6413 Eメール：kurasapo@shakyohiroshima-city.or.jp

電話や来所だけでなく、相談員が出向く訪問相談も可能です。サブセンターのない区でも、相談者の希望する場所まで相談支援員が出向きますので、遠慮なくご連絡ください。

「町内会・自治会加入促進 アイデア募集」 市・区社協職員アンケートを実施

広島市域では年々、町内会加入率が低下しており、住民活動を進める上でも、たくさんの世帯が町内会に加入していただけることが望ましいと考えています。このような背景もあり、昨年9月に標記職員アンケートを実施しました。125名中103名の職員から回答があり、町内会加入率は75%と、広島市の平均61.3%より高い加入率を示しました。

「加入が進んでいない理由」については235件の回答があり、マンション等集合住宅の問題、活動内容や会費使途への不明感、役員・役割への負担感、近隣と関わりたくないという意識、そもそも「誘いが無い、きっかけが無い」といった意見など、具体的な意見が多数寄せられました。

では「加入を促進するためにはどのような取組があればよいか」については187件の回答があり、その一部を紹介します。

- 行事があるごとに、また日常的にはコンビニやスーパー等の協力を得て、「町内会加入コーナー」を設ける。
- 町内会の役員等お世話する人の顔がわかると親しみや安心感がわくので、写真等を載せた広報をつくる。
- 地域で顔の見える関係づくりが、災害等の非常時に安心感を与えることや、防犯等に役立つことを周知していく。
- 集合住宅でも1世帯から加入できるようにする。
- 高齢者や障害者世帯等への会費や役割の免除。
- 小中学生の時から、町内会の役割や重要性、たすけあいの必要性などの福祉教育を進めていく。

今後、これらの意見を具体的に提案し、実施していきたいと思えます。

平成28年度

社会的課題(子育て)をテーマにした 学習プログラムづくり「第1回企画会議」



本会では、福祉教育推進事業の一環として「体験!発見!!ほっとけん!!!」を合言葉とする「やさしさ発見プログラム事業」を実施しています。

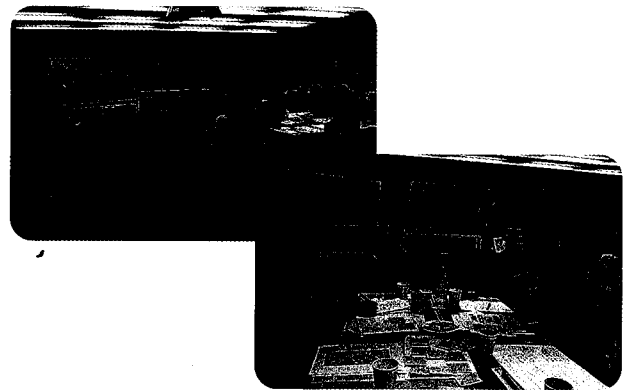
この事業は、子どもから大人まで様々な人が福祉を学び、体験学習から得た気づきを通して、ほっとけない気持ちを育んでもらう。そんな気持ちを持った人で広島のみちをいっぱいにする事で、誰もが住みやすいまちに変えていくことを目的としています。

しかし、この事業の活用の多くは、盲導犬とのふれあい、車いす体験、アイマスク体験など定型的なものになってきています。

そこで、実績のなかった「子育て」をテーマにした新たな学習プログラムの開発を行い、地域団体へ実施の提案をしていくこととし、平成28年12月22日に子育て支援活動実践者と区社協の福祉教育担当者に集まっていただき、学習プログラムの開発のための企画会議を開催しました。

1回目の会議では、「地域において子育てに対する課題にはどんなものがあるか」また、「その課題を解決していくための学習プログラムにはどのようなものが考えられるか」を議題として取り上げ、様々な視点からご意見をいただきました。

今後も引き続き、企画会議を開催し、ご意見をいただきながら、より多くの方に活用していただけるプログラムづくりにしていきたいと思っております。



自分も相手も大切に

～コミュニケーション技法“アサーション”について学ぶ～



福祉サービス利用援助事業「かけはし」は、認知症や知的・精神障害により判断能力が不十分なために、日常生活の中で契約や金銭管理についてトラブルを抱える可能性が高い方について、本人意思を尊重しながら、その方が地域で安心して暮らしていくお手伝いをしています。支援には相手と良好なコミュニケーションをとる必要がありますが、支援する側と支援される側の価値観の違いや思いの擦れ違いから、スムーズな支援が行えないこともあります。

自分も相手も大切にしながら、互いの意見を認めて伝え合うコミュニケーション技法「アサーション」を学ぶため、平成28年10月27日 株式会社 えな・ヒューマンサポート 代表取締役 森川早苗氏を講師に招き、生活支援員研修会を開催しました。

森川先生からは、自分の「常識」が相手にとっても「常識」とは限らないことを前提として、「自分も相手も同じように大切」というアサーションの基本姿勢や、アサーションにおける3つのタイプの特徴から自己の振

り返しを行ったり、支援の中で想定される場面でのアサーションの有効性についてわかりやすく講義していただきました。

参加者からは、「人はみな違う。その違いを認めることが『アサーション』である。」「多様性、価値観の違いを認め合い、歩み寄りを忘れずコミュニケーションをとっていきたい。」等の意見が聞かれ、支援に限らず個々の生活の中でも活かせる有意義な研修会となりました。



「小地域福祉活動について検討する問題別委員会」からの提案を受けての取組



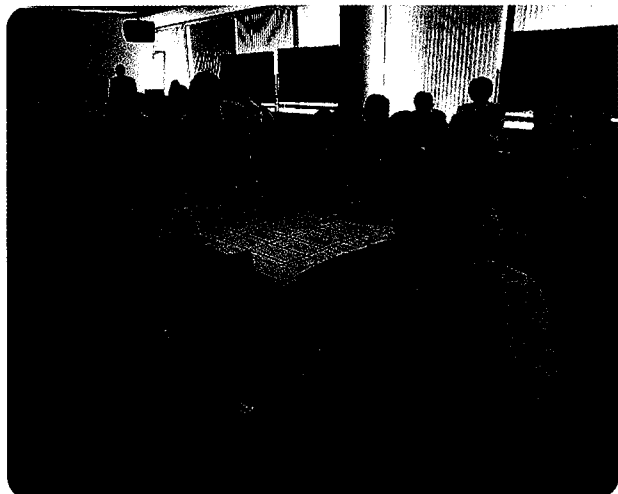
昨年1月に報告があった「小地域福祉活動について検討する問題別委員会」からの提案の中に、地区社協活動の担い手の増員が必要であるということから、①平成元年から各地区社協に設置している『地域福祉推進委員』に対する役割整理や育成プログラムの作成、②『福祉委員』の基本的な設置意義、役割等を具体的に示し、推奨していくこと、などが挙げられました。この提案をもとに本会では以下の研修会の開催を企画・実施しました。

①平成28年度

地域福祉推進委員研修会の開催

今回の参加対象者は地域福祉推進委員とその活動を支える方ということで、地域福祉推進委員の役割や位置づけ等について、地域の中で共通認識を持ていただくことを目的としました。研修プログラムでは、地域福祉推進委員に期待される3つの役割(I. アンテナ役、II. パイプ(つなぎ)役、III. 提案役)を具体的にプログラム化したもので、10月に全体研修Iを行った後、11月から1月にかけて各区社協において区別研修を実施し、最後に全体研修IIとして2月6日(月)開催の地区社協会長・地域福祉推進委員合同研究協議会の場で全体の振り返り等を行いました。研修終了後の研修参加者の声で、「地域福祉推進委員の役割が明確化されて良かった」、「他地区との情報交換ができて良かった」などといった成果もありましたが、「役割が大きすぎて単独では動きにくい」、「民生委員等の他団体との連携が課題である」といった課題も出てきました。

今後についても、地域福祉推進委員がより活動しやすい体制整備を図るため、今回の研修会の結果等を踏まえながら、2年に1回の開催頻度でより良い研修プログラムの作成・実施に努めていきます。



②地区社協役員等実践講座

(福祉委員について)の開催

今年度の地区社協役員等実践講座は福祉委員をテーマとして、平成29年1月24日に開催し、169名(97地区社協)のご参加をいただきました。広島市域における福祉委員の設置は昭和61年ごろから始まり、当初は民生委員の補完的役割を担い、主に見守り活動を行う活動でした。その後、各地域の必要性により徐々に広まり、平成25年の調査では約4割の地区社協で設置が進み、きめ細やかな取組が進められています。

今回の実践講座では、改めて福祉委員の設置意義や役割、課題や成果等の共通理解を図り、自分たちの地域で福祉委員は必要か、必要ではないのか、あるいは福祉委員に期待すること、設置するために必要なこと等をざっくばらんに語り合う場を設けました。

福祉委員の活動内容としては、サロンの運営や見守り活動に携わることが多く、その他にもあらゆる地域活動に関わられていました。参加者の声としては、全国的な動向や広島市域で先進的な活動をしている地区社協の実践発表を聞き、必要性を感じながらも、担い手(人材発掘)の問題、民生委員等の他団体との連携調整などの課題が多く挙げられました。また、既に町内会組織の中で福祉委員のような動きができていく地域もあることが分かりました。

この実践講座でいただいた意見や情報を整理し、福祉委員の設置意義や役割をより明確に示すことで、地域での福祉委員への理解を深め、活動参加者のすそ野を広げていけるよう、今後も取り組んでいきます。





共同募金へのご協力ありがとうございます。



平成28年10月1日、基町フレド広場において、厚生労働大臣、中央共同募金会会長のメッセージが広島県知事、広島市長、共同募金会会長に伝達され、第70回「赤い羽根共同募金運動」が始まりました。

広島市共同募金会は、引き続き八丁堀交差点付近において、この運動がより多くの理解と協力が得られるように、広島市長、市内各区社会福祉協議会会長並びに関係団体の協力のもと街頭募金を行い、募金を呼びかけました。

本年度も、募金目標額を昨年同様「1億円」として運動に取り組み、平成29年1月31日現在で募金額8千230万円あまりのご協力をいただいています。

寄せられた募金は、皆様のお住まいの地域の身近な福祉活動や、様々な福祉課題に取り組むボランティア活動の推進に活かされています。また、一昨年の広島市大雨土砂災害対策の資金として活用されましたが、地震や豪雨などによる大規模災害が発生した際に、被災地で求められる支援活動に即応する資金「災害準備金」として毎年一定額を積み立てています。

今年も「じぶんの町を良くするしくみ。」を目指して、平成29年3月31日まで継続して募金活動に取り組みますので、「赤い羽根共同募金運動」へ格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。

お問い合わせ

TEL 264-6400 FAX 264-6437

広島市共同募金会 〒732-0822 広島市南区松原町5-1 BIG FRONT ひろしま 6階 広島市総合福祉センター内



おかげさまで70周年



まごころ銀行へのご協力ありがとうございました

本会まごころ銀行に、次の皆さまから厚くお礼申し上げます。(平成28年9月1日～平成29年1月16日・敬称略)

●一般寄附者

林 俊之
宗教法人 真如苑
そごう・西武労働組合広島支部
匿名二名

皆さまからお寄せいただいた浄財は、高齢者・児童・障害者の福祉など明るい地域社会を築くために活用させていただきます。



宗教法人 真如苑様からのご寄附

社会福祉法人広島市社会福祉協議会 賛助会員を募集しています。

本会の活動にご賛同いただき、「賛助会員」としてあなた(貴社・団体)も地域活動に参加してみませんか。納めていただいた賛助会費は、地域福祉推進の基礎的団体である地区(学区)社会福祉協議会のために使います。

賛助会費 法人 1口 10,000円 個人 1口 1,000円

※口数は何口でも結構です。

※本会は社会福祉法人ですので、個人の場合は「寄附金控除」「住民税額控除」、法人の場合は「法人税法上の損金算入」ができます。

賛助会員へのご協力ありがとうございます。

次の方々からお申込みをいただきました。【平成28年4月1日～12月31日(敬称略 順不同)】

法人 87社 114口

協同組合広島総合卸センター、(株)イトー、岡本電機(株)、高千穂金物、(株)あじかん、(株)テレビ新広島、(株)中国放送、(株)広島バスセンター、協和行政書士事務所、広島県行政書士会成年後見協議会、キョーリツコーポレーション(株)、(株)Taisei、広島修道大学、(株)桐原容器工業所、洋伸建設(株)、OD倶楽部、三栄産業(株)、(株)紀陽、ホテルセンチュリー21広島、広島駅弁当(株)、中央通り乳腺検診クリニック、医療法人社団正岡病院、医療法人和同会広島パークヒル病院、広島シーサイド病院、医療法人翠星会松田病院、医療法人社団いでした内科・神経内科クリニック、東洋観光(株)、補助タクシー、(株)アンデルセン・パン生活文化研究所、(株)福屋、学校法人石田学園、広島文化学園大学・短期大学、広島市流通センター(株)、日本基準寝具(株)、財団法人中国電気保安協会、(株)フレスタ、ざおん浄廟【有信(株)】、その他50法人

個人 1,802人 2,863口

ご協力いただきました皆さま、ありがとうございます。これからも、地域福祉を推進する本会の活動にご理解いただき、様々な地域活動に積極的に参加していただくとともに、新年度におきましても引き続き、賛助会員としてご支援ご協力をお願いいたします。

ご招待 ありがとうございます ございます!

本会は「広島市障害福祉施設連盟」及び「広島市児童福祉施設連盟」の事務局を担っています。これらの施設利用者に対して、様々な企業・団体さまからイベント等へのご招待をいただいていますので、本紙を通じて紹介し感謝の意を表したいと思います。

大日本プロレス((有)四ツ葉工芸)様
オールジャパン・プロレスリング(株)様

大相撲広島場所実行委員会 様
(株)サムライ・ロック・オーケストラ 様

平成29年度 広島市シニア大学受講生募集案内

(老人大学からシニア大学へ名称変更し、定員も拡大!!)

- 対象** 市内在住の65歳以上【平成29年4月1日現在】の方で、地域活動やボランティア活動に関心のある方。また、講座だけでなく班活動・自治会活動・サークル活動に積極的に参加していただける方。
- 学習内容** 講座形式で、6月～翌年3月の原則第2・4木曜日 午後1時30分～午後3時 年間19回
在籍期間：3年間 ※希望者は、大学院に進学(2年間)
- 講座内容** 健康・福祉・平和・ボランティア活動・歴史・市政・防災・環境・国際など
- 班活動** 8班編成で、班別懇談会、野外レクリエーション等、学年を超えた学生同士が交流します。
- 自治会活動** 学生の自主運営で、会報「きずな」や卒業アルバムの発行、平和記念公園一斉清掃・赤い羽根共同募金などボランティア活動など実施しています。また、学生相互の交流を深めるため、一泊二日の研修旅行や大学祭を開催しています。

- サークル活動** 大学・大学院共通の絵画、水墨画、書道、写真、七宝焼き、リズム体操、民謡、大正琴、社交ダンス、歌謡、ブランドゴルフ、パソコン、遊歩会、詩吟詠、俳句、ウォーキング、ハーモニカ、混声合唱、ボウリングの19サークルが活動しています。
- 場所** 広島市総合福祉センター
(南区松原町5番1号 BIG FRONT ひろしま 5階)
- 応募方法** 往復はがきに、住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、携帯電話の番号(持っておられる方)を記入し、4月5日(水)(消印有効)までに、郵送してください。
- 募集人数** 150名程度(申込者多数の場合は、抽選となり、結果について全員に通知します。)
- 入学金** 教材費 2,000円/年
自治会費 4,000円/年 計 6,000円/年

募集期間 / 平成29年3月15日(水)～4月5日(水) 当日消印有効

郵送・問合せ先 〒732-0822 広島市南区松原町5番1号 広島市総合福祉センター内 (BIG FRONT ひろしま 6階) TEL082-264-6404

広島市社会福祉協議会 福祉課事業係「シニア大学受講生募集」係

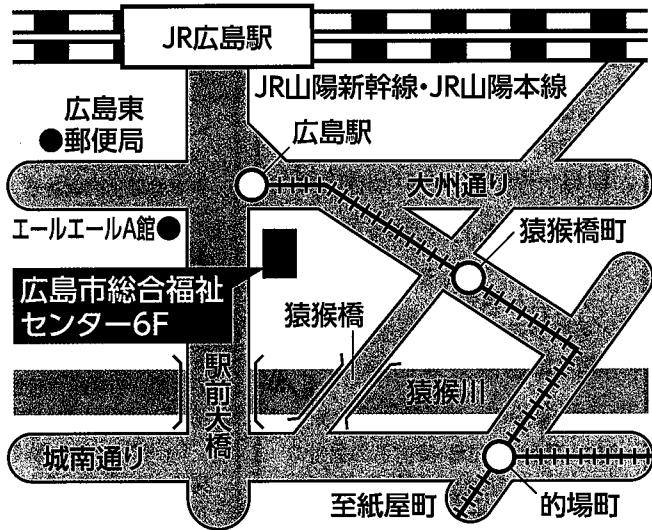


広島市総合福祉センターの会議室やホールをご利用ください。

広島市総合福祉センターは、バリアフリーに配慮された施設で、福祉の増進を目的とする市民の交流や活動の場です。
このセンターには会議や研修会のほか、ちょっとしたミーティングなどに利用できる大小の会議室や、講演会などが開催できる最大定員450名のホールなどがあります。
企業の方の利用もお待ちしています。

- 所在地**：広島市南区松原町5番1号 (BIG FRONT ひろしま5、6階)
- 利用時間**：午前9時から午後9時まで
- 休館日**：毎月第3日曜日・8月6日・年末年始 (12月29日～翌年1月3日)
- 受付時間**：平日 午前8時半～午後5時15分まで
土・日曜日、祝休日 午前9時～午後5時まで (休館日は除きます。)
- 問合せ**：TEL082-264-6420 FAX082-264-6437

▼▼▼本会ホームページ内に詳しく紹介しています。▼▼▼
<http://shakyo-hiroshima.jp/>



社会福祉法人 広島市社会福祉協議会

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号 (BIG FRONT ひろしま 6階 広島市総合福祉センター内)

総務課
●庶務係・経理係 TEL082-264-6400 FAX082-264-6437
E-mail shomu@shakyohiroshima-city.or.jp
URL <http://shakyo-hiroshima.jp/>

- 福祉課
●地域福祉係 TEL082-264-6403・FAX082-264-6413
●事業係 TEL082-264-6404・FAX082-264-6413
●くらしサポート係 TEL082-264-6405・FAX082-264-6413
●シニア応援センター係 TEL082-264-6415・FAX082-264-6439
■福祉サービス利用援助センター TEL082-264-6406・FAX082-264-6437
■ボランティア情報センター TEL082-264-6408・FAX082-264-6416